

綿の栽培方法

【土の準備】

〈畑の場合〉

有機石灰（かきがら石灰）を1㎡あたり150g、鶏糞を450gまいて耕し、80~100cm幅のかまぼこ状の畝を作ります。

※肥料が多すぎると虫がつきやすく、実がつきにくくなります。

〈鉢やプランターの場合〉

培養土に「赤玉土」を1/3ほど混ぜると水もちがよくなります。

鉢は60cmほどの深さがあると良いです。

5月

【種まき】

気温が十分に暖かくなり、新緑が溢れてから種をまきます。

鉢植えの場合は大きめ、深めの鉢をご用意ください。

直径30cm以上の鉢に間隔をあけ5~6粒ほどが目安です。

1. 種まきの前夜、一晚種を水に浸して、

たっぷり水を吸わせてから植えましょう。

2. 土の中1~2cmほどの深さに種をそっと埋め、軽く土を被せます。

3. 芽が出るまでは常に土が湿るように水やりをしてください。

1週間ほどで芽がでます。



【芽が出たら & 芽が出ない場合】

・発芽してからは土が乾かない程度に数日おきに水やりを。

・15cmくらいに伸びてきたら、健全なものをひとつ残して間引きしてください。（抜くのではなく土のすぐ上をハサミで切ると良い）

・1週間以上経っても発芽しない場合は再度種まきします。



7月~8月

【追肥】

7月上旬、中粒の発酵油粕を株のまわりに4~6粒ほどうめます。

【虫対策】

・農薬は使用できません。虫を見つけたら手で取ってください。

・薄めた木酢液やニーム液などをスプレーすると予防になります。

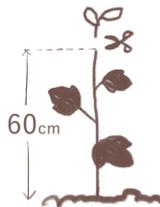
・風通しをよくすると虫がつきにくいです。

【摘心】60cmくらいになったら

・これ以上伸びないように上の部分を切り落とします。

これをすることで横に伸び、花がつきやすくなります。

・必要ならば支柱をたて軽く結えて支えます。



【開花】

かわいい花が咲くのはわずか1日！お見逃しなく！

10月~12月

【結実】

花が終わると実がなります。これがコットンボールです。

【収穫】

その後実が次々と弾け、ふわふわの綿が溢れます。

しっかり弾けたらひとつひとつ摘んで収穫しましょう。

花のようにも見えるので「綿花」とよばれます。

※葉っぱや茎が入ったらできるだけ取り除きましょう。



【収穫後】

・カビが生えないよう、しっかり乾かしてからネットや袋で保管してください。

・がくや葉はできるだけきれいに取り除いてください。

種はついたままで構いません。

・1月以降にコットンバンクに預け入れ期間を設けますので、情報をご確認の上、コットンバンクにお持ちください。